



2024年11月13日

各 位

日本出版貿易株式会社
代表取締役社長 綾 森 豊 彦
(東証スタンダード・コード8072)
問合せ先
事業管理本部総務部長 木 村 樹
電 話 番 号 03-3292-3751

特別損失の計上並びに2025年3月期第2四半期(累計)
連結業績予想の修正及び通期連結業績予想の取り下げに関するお知らせ

当社は、2025年3月期第2四半期連結会計期間(2024年4月1日から2024年9月30日)において、特別損失(公開買付関連費用)を計上する見込みとなりました。また、最近の業績動向を踏まえ、2024年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

2024年8月14日に公表した「株式会社トーハンによる当社株式に対する公開買付けに関する賛同の意見表明及び応募推奨のお知らせ」においてお知らせしました、株式会社トーハンによる当社の普通株式に対する公開買付けに関連する費用として、アドバイザリー費用、弁護士費用その他の諸費用を公開買付関連費用として50,487千円を特別損失に計上いたしました。

2. 業績予想の修正について

2025年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2024年4月1日~2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,660	百万円 110	百万円 100	百万円 70	円 銭 100.37
今回修正予想(B)	3,788	208	191	81	116.18
増減額(B-A)	128	98	91	11	
増減率(%)	3.5	89.1	91.0	15.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	3,978	158	183	128	183.69

修正の理由

2025年3月期第2四半期連結業績予想につきまして、売上高は予想通り推移いたしました。利益面では、採算の悪い商品群の値上げの実施、売上総利益率改善等の影響による売上総利益の増加、物流内製化比率拡大による業務委託費の圧縮などの販管費削減の取り組みの効果により、営業利益は9千8百万円、経常利益は9千1百万円前回予想を上回る見込みです。なお、株式会社トーハンによる当社の普通株式に対する公開買付けに関連する費用として特別損失5千万円の計上があったことなどから、親会社株式に帰属する中間純利益は前回予想より11百万円の増加にとどまる見込みです。

3. 業績予想の取り下げについて

2025年3月期通期連結業績予想数値の取り下げ（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 8,600	百万円 350	百万円 330	百万円 230	円 銭 329.80
今回修正予想(B)	—	—	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	8,554	425	448	314	451.67

修正の理由

2024年10月29日公表の「株式併合、単元株式数の定め廃止及び定款の一部変更に関する臨時株主総会開催のお知らせ」に記載のとおり、当社は株式併合及び一連の手続により、当社の株主が株式会社トーハン、並びに丸善雄松堂株式会社、株式会社講談社、株式会社宮脇商事及び株式会社宮脇書店のみとなり、当社株式は上場廃止となる予定であるため、2025年3月期通期連結業績予想を取り下げ、公表を控えさせていただきます。

(注) 上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上